

部 局	都市活力部	補 職	部 長	氏 名	都市活力部長
-----	-------	-----	-----	-----	--------

## 1. 部局の使命

「暮らしの舞台として選ばれるまちにする」  
 定住・関係・交流人口の獲得に向けて、住まいに加え仕事や活動、学びや憩いなど、本市が「暮らしの舞台」として、市内外の多くの方々から支持され、選ばれるまちになるため、地域や民間との連携を強化しながら、体系的・総合的に施策を展開します。

## 2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針 取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p><b>【基本姿勢】</b>            ○使命を遂行するにあたり、部内各課において次の姿勢を基本に据え取り組みを進めます。            ・本市の地域資源と潜在力（交通インフラ、文化、スポーツ、産業資源等）を活かします。            ・市民や地域、民間など多様な主体と連携し、ヒト・モノ・コトの交流・集積を促します。            ・新たな発見と価値を暮らしに提案し、わかりやすく伝えます。</p> <p>1. 豊中の魅力の創出と発信            ・第2期豊中ブランド戦略に基づき、本市の持つ可能性と強みを最大限に引き出し、豊中ならではの魅力を創出・発信する取り組みを実践します。</p> <p>2. 人と文化を育む創造性あふれるまちの推進            ・多様な主体との連携のもと、文化芸術の力をまちづくりに活かす取り組みを進めます。</p> <p>3. スポーツに親しむ機会の充実            ・スポーツ推進委員協議会とも連携し、市民のスポーツへの興味・関心を高め、親しむ機会の充実を図ります。</p> <p>4. 大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実            ・空港周辺環境対策の充実を図るとともに、空港機能の利活用促進に取り組みます。</p> <p>5. 産業のあるまちづくりの推進            ・産業のまちとして選ばれるため、安定した操業環境を整えるなど、中小企業の産業振興に係る取り組みを推進します。</p> <p>6. 都市農業の振興            ・都市農業振興基本計画に基づき、都市農地の保全と活用を図る取り組みを展開します。</p>	<p>1. 豊中の魅力の創出と発信            音楽あふれるまちの新たな展開としてストリートピアノプロジェクトを立ち上げるなど、本市の魅力発信に取り組みました。</p> <p>2. 人と文化を育む創造性あふれるまちの推進            新型コロナウイルス感染症の影響で制作発表の機会を失った市内アーティストを支援するため、文化芸術活動支援助成金を立ち上げ、地域を元気にする取り組みを行いました。            また、新たなアートプロジェクト「ART ROOMS TOYONAKA」を庄内地域で展開し、子どもたちがアートに親しむ機会の充実に努めました。</p> <p>3. スポーツに親しむ機会の充実            グリーンスポーツセンターや二ノ切温水プールを開館し、市民がスポーツに親しむ環境の整備を図りました。</p> <p>4. 大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実            遅延便の減少を達成するとともに、原田緩衝緑地の活用の方向性を明らかにしました。</p> <p>5. 産業のあるまちづくりの推進            プレミアム商品券事業など、コロナ禍に苦しむ市内事業者の事業活動の下支えとなる施策を展開しました。</p> <p>6. 都市農業の振興            市内事業者と地元農産物とのマッチングなど、地産地消の取り組みを進めました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>豊中の魅力の創出と発信</p> <p>○第2期豊中ブランド戦略の推進 同戦略に基づくリーディングアクション事業に取り組みます。 ※ストリートピアノの展開（市役所ロビー、千里コラボセンター他）（秋以降） ※訪日外国人交流事業（民間団体による実施を支援） 7月～ ※グリーンスポーツセンターグランドオープニングイベント（アート×スポーツなど）（10月） ※大阪星岡茶寮展等（同茶寮を軸に、曾根駅周辺の歴史を振り返る）（12月） ※アートプロジェクト野点（6月～11月）</p> <p>○戦略を推進する体制の運営 市内の事業者・NPO・大学等などで構成する「豊中ブランド推進ネットワーク会議」の事務局を担い、同会議が主体となった具体的な事業を展開します。 ※豊南市場賑わいづくり事業（秋以降） ※多世代交流事業（10月）</p> <p>○戦略を推進する仕組みの活用 魅力アップ助成金等を活用し、民間団体の賑わいづくり事業を支援します。 ※クラウドファンディングコースを新設し、民間団体の資金調達を支援します。（4月～） ※まちづくりにぎわい事業助成金を活用し、都市機能誘導区域内の賑わいづくりを支援します。（5月～）</p>	<p>○ピアノのペイントとともに、お披露目の演奏会等も開催するなどストリートピアノプロジェクトを立ち上げました。訪日外国人交流事業はできませんでしたが、グリーンスポーツセンターリニューアルオープンに合わせた記念イベントや大阪星岡茶寮展、野点は予定どおり開催し、本市の新たな魅力の創造と発信に努めました。</p> <p>○コロナ禍により、ブランド推進ネットワーク会議で想定していた事業が実施できず、会議自体も開催できませんでした。</p> <p>○新たに設けたクラウドファンディングコースに1件応募があり、約120万円強の寄付が集まりました。魅力アップ助成金とにぎわいづくり事業助成金をあわせ、合計で28もの事業の支援を行いました。</p>	<p>○コロナ禍の状況に対応しつつ、ピアノプロジェクトをはじめ積極的な事業展開を行います。また、Instagramを活用し、本市の魅力を積極的に発信していきます。</p> <p>○会議として実施する事業について話し合い、実施していきます。</p> <p>○助成金制度の積極的なPRにより、引き続き市民団体等の多様な事業展開を促します。</p>
<b>総合計画</b>			
	5-2-③ 都市の価値の創造と魅力の発信を進めます。		
<b>基本政策</b>			
	43 豊中ブランドの推進(豊中ブランド推進機構の創設など)		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>人と文化を育む創造性あふれるまちの推進</p> <p>○(仮称)文化芸術推進基本計画の策定 今後の本市の文化芸術振興の方向性を明らかにする(仮称)文化芸術推進基本計画を策定します。 ※令和2年(2020年)8月審議会答申、同年12月パブリックコメント</p> <p>○現行の文化芸術推進プラン(改訂版)に基づく取組みを進めます。 ※子どもの創造性を育む事業(「ART ROOMS TOYONAKA」)を実施します。(10月以降) ※さまざまな市民団体等と連携し、豊中まつり、美術展、文化芸術祭などを実施します。(8月～) ※音楽コンクール事業及び音楽月間事業を展開します。(6月～) ※文化芸術振興助成金にクラウドファンディングコースを設け、民間団体の文化芸術活動を支援します。(5月～)</p> <p>○次期指定管理者の選定 令和3年(2021年)から5年間、文化芸術センター等の運営を担う次期指定管理者を選定します。 ※令和2年(2020年)4月募集開始、同年9月議会提出</p>	<p>○予定通り文化芸術推進基本計画を策定しました。</p> <p>○アートプロジェクト「ART ROOMS TOYONAKA」は、コロナ禍により企画内容・実施時期を大幅に変更せざるを得ませんでした。3月末に庄内地域で開催しました。また、豊中まつりも事業方法を大幅に変更したほか、美術展は講評を中止して展示のみ実施、文化芸術祭は中止となりました。</p> <p>○音楽コンクールは中止、音楽月間事業は「まちなかクラシック」を無観客実施し、映像を配信しました。</p> <p>○文化芸術振興助成金のクラウドファンディングコースで採択した1件について、約500万円強の寄付が集まりました。</p> <p>○次期指定管理者を募集・選定し、予定どおり、4月から伝統芸能館と市民ギャラリーが指定管理者の運営に移行しました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響で制作発表の機会を失った市内アーティストを支援するため、文化芸術活動支援助成金を立ち上げ、地域を元気にする取組みを行いました。</p>	<p>○新たな文化芸術推進基本計画に基づく取組みを着実に進めます。</p> <p>○助成金制度の積極的なPRにより、引き続き市民団体等の多様な事業展開を促します。</p>
<b>総合計画</b>			
4-2-①	文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます。		
<b>基本政策</b>			
11	文化芸術の創造(新・文化芸術推進ビジョンの策定、文化芸術振興助成金創設、文化芸術フェスティバルの開催)		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>スポーツに親しむ機会の充実</p> <p>○スポーツ推進計画に基づき、スポーツ推進委員協議会との連携のもと市民がスポーツに親しむ機会の充実を図ります。  ※トライウオーキング（10月・3月）  ※とよなかチャレンジスポーツフェスタ（10月）  ※ニュースポーツデー（通年）</p> <p>○地域資源を活かしスポーツの魅力を感じ取る機会の充実を図ります。  ※高校ラグビー100大会記念事業実施（12月）  ※グリーンスポーツセンターグラウンドオープニングイベント（10月）</p> <p>○施設の機能更新等を着実に進めます。  ※庄内温水プール跡地整備完成（9月竣工）  ※二ノ切温水プール建替工事完成（11月竣工）  ※千里・柴原体育館空調工事完成（千里6月、柴原12月竣工）  ※武道館ひびき空調設置の実施設計  ※庄内体育館空調設置設計施工一括発注契約  ※豊中ローズ球場の基本・実施設計</p> <p>○（仮称）次期スポーツ推進計画（令和3年度（2021年度）策定予定）策定に向けた検討に着手します。  ※市民のスポーツ実施状況調査を行います。（10月～）</p> <p>○スポーツ施設の個別施設計画策定</p> <p>○次期指定管理者の選定  令和3年（2021年）から5年間、屋外・屋内体育施設の運営を担う次期指定管理者を選定します。  ※令和2年（2020年）4月募集開始、同年9月議会上程</p>	<p>○チャレンジスポーツフェスタは事業規模を縮小し、屋内のみの催しとして開催しましたが、トライウオーキングは当初予定通り2回実施するなど、可能な限り市民が幅広くスポーツに親しむ機会の確保に努めました。</p> <p>○グリーンスポーツセンターのオープニングイベントとして、施設のライトアップやアート作品展示、凧揚げイベントや各種ワークショップなど、地域を巻き込んだ様々な企画を展開しました。高校ラグビー100回大会記念事業は、当初想定していた形では実施できませんでしたが、ウェブで歴史を紹介したり、市民情報サロンで展示を行ったりしました。</p> <p>○コロナ禍により、豊中ローズ球場の実施設計は一旦中止しました。その他の施設整備については、若干の遅れ等はあったものの、当初の計画を完遂しました。</p> <p>○スポーツ状況調査は実施時期を再考し、令和3年度（2021年度）を行うこととしました。</p> <p>○スポーツ施設の個別施設計画を策定しました。</p> <p>○令和3年度（2021年度）から新たに5年間の運営を担う指定管理者を選定しました。</p>	<p>○コロナ禍でスポーツに親しむ機会が少なくなっているため、引き続き様々な取組みを行い、機会の確保に努めます。</p> <p>○引き続き高校スポーツ発祥の地をPRする取組みを展開します。グリーンスポーツセンターのイベント事業については定期化を図ります。</p> <p>○引き続き施設の機能更新等を着実に進めます</p> <p>○次期スポーツ推進計画策定に向けた準備を進めます。</p> <p>○屋内体育施設については、新たな事業者が指定管理者となったため、特にスタート時においては円滑な運営ができるよう支援します。</p>
<b>総合計画</b>			
4-3-②	生涯を通じて、健康で生きがいをもって暮らせる環境づくりを進めます。		
<b>基本政策</b>			
12	スポーツ環境の充実（スポーツ施設の再整備、市民スポーツ団体連携強化）	40	生涯現役促進事業の推進
44	アマチュアスポーツ発祥の地推進事業の展開		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実</p> <p>○航空機騒音に対する空港周辺環境対策  ※空気調和機器更新工事助成の継続、独居世帯への助成の復活を関係機関へ要望(8月)  ※低騒音機材の導入促進や発着時間規制(7時～21時)の順守、遅延便対策等について、国土交通省などの関係機関に対する働きかけと周辺地域住民との意見交換の実施(5月～)  ※遅延便について地元や関係機関と協議を重ね、共通理解の形成と取り扱いのルール化を進めます。</p> <p>○空港機能の利活用促進  ※就航都市のPR及び都市間交流の推進</p> <p>○空港周辺地区の整備のあり方の検討  ※空港周辺地域整備構想(素案)の策定(3月末)  ※千里川土手をはじめ、緩衝緑地や移転補償跡地の更なる有効活用</p> <p>○共同利用施設のあり方(施設配置・管理運営方法)の検討  ※「施設再編方針」「集会機能を有する施設の再編方針」に基づき、周辺公共施設の再編の動きを踏まえて、『個別施設計画』の策定に向けた庁内調整と地元調整を進めるとともに、管理運営や有効活用等の方法についての検討(3月末)  ※新型コロナウイルス感染症への対策に応じた柔軟な施設運営</p>	<p>○大阪国際空港周辺都市対策協議会(10市協)を通して様々な機会に要望を行いました。また空港運営会社や航空会社等への働きかけにより、遅延便の大幅減少につながるとともに、10市協や市議会空港問題調査特別委員会との情報共有を図りながら遅延便の取り扱いに関する基本的理解の醸成に努めました。遅延便対策等についての意見交換は新型コロナウイルス感染拡大のため延期しました。</p> <p>○コロナ禍により就航都市間交流やPRイベントが中止となる中、ウェブでの新たなPR方法を試行しました。</p> <p>○空港周辺地域整備構想(素案)を取りまとめるとともに、原田緩衝緑地の活用の方向性を明らかにしました。また地元住民とともに走井緩衝緑地の花畑整備を進めました。</p> <p>○「地域コミュニティ施設の再整備プラン」において、共同利用施設の施設配置等のあり方を明らかにしました。また運営方法について地元管理運営委員会と協議し、新たな運用方法を始めました。</p>	<p>○引き続き様々な機会を捉えて要望を行います。また、騒音測定局の移設に向けた調整を行います。遅延便の取り扱いについては、共通理解の形成とルール化に向けて、地元や関係機関と協議を重ねていきます。</p> <p>○就航都市交流事業や空港PR事業について、より効果的なPR方法を模索し、試行してまいります。</p> <p>○整備構想の策定に向け、地元や関係機関と協議を重ねてまいります。その中で、原田緩衝緑地の利活用に向け、民間事業者のサウンディング調査を実施します。千里川土手の舗装整備の実施と利活用に関し、関係機関と協議を進めます。</p> <p>○共同利用施設の新たな運用方法と再整備プランについて、各管理運営委員会に説明し、意見交換を行います。また、利倉センターの駐車場・広場整備を検討します。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>3-1-③ 環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます。</p>	<p>3-4-① 地域特性を活かした都市の拠点づくりを進めます。</p>	
	<p><b>基本政策</b></p> <p>26 大阪国際空港を活かしたまちづくり(大阪国際空港の活性化、魅力スポット整備、緩衝緑地の有効活用、周辺地区環境・安全対策の充実)</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
5	<p>産業のあるまちづくりの推進</p> <p>○企業立地促進計画に基づく施策の具体化  ※重点エリアの指定に向けた合意形成等の推進（令和3年度（2021年度）指定）</p> <p>○（新）産業ビジョンの策定に向けた取り組み  ※改めて同ビジョンの策定年度を令和3年度（2021年度）中と定め、そのリスタートに取り掛かります。</p> <p>○起業・チャレンジセンターの仮移転  ※令和2年度（2020年度）中に仮移転を完了します。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症に伴う事業者向け支援施策の実施  ※国・府等の融資制度の周知の徹底及び市内での消費喚起事業など、事業者向け支援施策を実施します。</p>	<p>○重点エリアの指定に向け、候補地の選定や誘導策の検討に取り組みました。</p> <p>○新・産業ビジョンの策定予定を変更し、急遽新型コロナの影響を受けた市内事業者を下支えする「地域経済再生支援プログラム」を取りまとめました。</p> <p>○予定どおり起業・チャレンジセンターの移転を終えました</p> <p>○プレミアム商品券事業や売上アップ応援金など、新型コロナの影響を受けた市内事業者を支援する様々な事業を展開しました。</p>	<p>○令和4年度（2022年度）からの適用に向け、地元合意や条例改正等の手続を進めます。</p> <p>○改めて新・産業ビジョンの策定に向け準備を進めます。</p> <p>○移転を機に、金融機関のビル内という立地環境を活かしながら、改めてセンター機能の有効活用を図ります。</p> <p>○コロナ禍の影響の度合い等を見極めたうえで、「地域経済再生支援プログラム」に基づき事業者を下支えする施策を展開します。</p>	
	<b>総合計画</b>			
	3-5-① 地域産業の活性化による都市のにぎわいづくりを進めます。	3-5-②	新たな事業の創出や担い手の育成を支援します。	
<b>基本政策</b>				
	25 企業立地支援方策の充実	45	新・産業ビジョンの策定	
	48 起業チャレンジセンターのリニューアル検討			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	都市農業の振興 ○都市農業振興基本計画のチャレンジプロジェクトの展開 令和2年度(2020年度)協働事業市民提案制度を活用しながら、農業希望者と農地所有者のマッチングを行う。令和3年度(2021年度)からのモデル実施を想定 ※「(仮称)援農隊」による農地の保全・活用 ※既存施設やサービスを活用した地産地消の推進 ※市民団体と連携した農地の保全・活用	○新たに千里文化センターやグリーンスポーツセンターでの地元産農産物の即売会を定例化した他、地元産のレモンを活用した商品開発など、市内事業者と地元農産物とのマッチングを進めました。 ○「(仮称)援農隊」による農地の保全・活用、市民団体と連携した農地の保全・活用は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止しました。	○引き続き、都市農業振興基本計画に基づく取組み(とりわけチャレンジプロジェクトを中心に)を進めます。
	<b>総合計画</b>		
	3-1-② 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めます。		
<b>基本政策</b>			
	46 都市農地の保全活用		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う事業者向け支援施策の実施</p> <p>○事業者が利用可能な融資制度等の周知を図ります。 ○借り入れを行う事業者を支援するため、新たな信用保証料の助成制度を創設します。 ○新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内中小事業者支援のため、市内店舗等の宅配事業を促進する取り組みを展開します。</p>	<p>○セーフティネット(4・5号)及び危機関連保証の融資に伴い支払った信用保証協会の保証料(最大20万円)を助成しました。 ○大阪府と共同で、「休業要請支援金」を交付しました。 ○「小規模事業者応援金」(一律20万円)を用意し、感染症拡大防止に努める市内小規模事業者の事業継続支援を行いました。 ○新しい生活様式に対応した商品・サービスなどで販路開拓、売上アップに取り組む事業者グループ・団体を支援する「売上アップ応援金」(最大30万円)を交付しました。 ○市内店舗でキャッシュレス決済(PayPay)を使用した消費者に対して、ポイント還元(20%)を行い、市内での消費喚起とキャッシュレス決済の普及を図りました。 ○プレミアム付商品券を発行(発行総額36億円)し、市内での消費喚起を促進しました。 ○感染症拡大防止に資する衛生用品などの購入費用に対して、産業活動助成金(最大3万円)を交付しました。</p>	<p>○地域経済の再生・活性化を最優先に、これまでの産業振興施策とあわせて、引き続き事業活動の下支えに取り組めます。 ○資金補助などの一時的な支援だけでなく、コロナ収束後における円滑な経済再開を見据え、市内事業者が持続的発展できるための環境づくりを支援します。</p>
	<b>総合計画</b>		
	3-5-① 地域産業の活性化による都市のにぎわいづくりを進めます。		
<b>基本政策</b>			
	45 新・産業ビジョンの策定		



4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>第2期豊中ブランド戦略に基づく取り組みの推進</p> <p>同戦略に基づく具体的事業を展開し豊中の都市ブランドの向上を図ります。第2期戦略では、関係人口・交流人口の増加を新たな指標に掲げていることから、魅力アップ助成金の活用などさまざまな取り組みを通して、多様な人材とのネットワークを拡げ、豊中のファンづくりに取り組みます。</p>	○同戦略計画期間：令和2年度（2020年度）～令和5年度（4年間）
	<b>総合計画</b>	
	5-2-③ 都市の価値の創造と魅力の発信を進めます。	
	<b>基本政策</b>	
43	豊中ブランドの推進(豊中ブランド推進機構の創設など)	
2	<p>文化芸術推進基本計画に基づく取り組みの推進</p> <p>○同計画に基づく具体的事業を展開し、市民の文化芸術の振興を図ります。</p> <p>○子どもたちの創造性を図るアートイベント「ART ROOMS TOYONAKA」の実施（令和5年度（2023年度）3年に1度）</p> <p>○文化芸術の力をまちづくりに活かしていくためには、できるだけ多様な分野（観光、産業、福祉、スポーツなど）と連携した取り組みに挑戦します。</p>	同計画の計画期間：令和3年度（2021年度）から令和9年度（2027年度）までの7年間
	<b>総合計画</b>	
	4-2-① 文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます。	
	<b>基本政策</b>	
11	文化芸術の創造（新・文化芸術推進ビジョンの策定、文化芸術振興助成金創設、文化芸術フェスティバルの開催）	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	<p>新たなスポーツ推進計画に基づく取り組みの推進</p> <p>○令和3年度（2021年度）に新たなスポーツ推進計画を策定します。</p> <p>○令和4年度（2022年度）以降は、同計画に基づき、市民スポーツ振興に向けたさまざまな事業を展開します。</p> <p>○体育施設の将来の整備等の方向性について、検討を行い、考え方を取りまとめます。</p>	<p>○令和3年度（2021年度）</p> <p>※（仮称）新スポーツ推進計画策定</p> <p>※武道館ひびき空調設置工事</p> <p>※庄内体育館空調設置工事</p> <p>※高校サッカー100回大会記念事業</p> <p>○令和4年度（2022年度）</p> <p>※豊中ローズ球場改修工事</p>
	<b>総合計画</b>	
	4-3-② 生涯を通じて、健康で生きがいをもって暮らせる環境づくりを進めます。	
	<b>基本政策</b>	
	12 スポーツ環境の充実（スポーツ施設の再整備、市民スポーツ団体連携強化）	40 生涯現役促進事業の推進
	44 アマチュアスポーツ発祥の地推進事業の展開	
4	<p>空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実</p> <p>○遅延便について、取り扱いのルール化を図り、地元や関係機関との合意形成につなげます。</p> <p>○千里川土手や原田緩衝緑地の有効活用策や具体的な整備手法等について、関係機関や空港周辺地域住民との合意形成につなげます。</p> <p>○就航都市との交流を継続し、交流先の拡大や市民レベルでの交流等につなげます。</p>	○令和3年度（2021年度） 空港周辺地域整備構想の策定
	<b>総合計画</b>	
	3-1-③ 環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます。	3-4-① 地域特性を活かした都市の拠点づくりを進めます。
	<b>基本政策</b>	
	26 大阪国際空港を活かしたまちづくり（大阪国際空港の活性化、魅力スポット整備、緩衝緑地の有効活用、周辺地区環境・安全対策の充実）	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
5	<p>中小企業の産業振興に係る取り組みの推進</p> <p>○企業立地促進計画に基づく施策の具体化 ※重点エリア指定と支援策の拡充</p> <p>○(仮称)新・産業ビジョンに基づく取り組みの推進(令和3年度(2021年度)～10年間)</p> <p>○起業・チャレンジセンターのリニューアル 令和5年度(2023年度)の本移転に合わせ、同センターの移転機能の検討</p>	<p>○令和3年度(2021年度) ※重点エリアの指定 ※企業立地促進条例の改正</p> <p>○令和4年度(2022年度) ※重点エリアの支援策を実施</p> <p>○令和5年度(2023年度) ※起業・チャレンジセンター本移転</p>
	<b>総合計画</b>	
	3-5-① 地域産業の活性化による都市のにぎわいづくりを進めます。	3-5-② 新たな事業の創出や担い手の育成を支援します。
	<b>基本政策</b>	
	25 企業立地支援方策の充実	45 新・産業ビジョンの策定
48 起業チャレンジセンターのリニューアル検討		
6	<p>都市農業振興基本計画に基づく取り組みの推進</p> <p>○チャレンジプロジェクトをはじめ、同計画に基づく具体的事業を展開し、都市農地の保全と活用を図ります。展開にあたっては、農地所有者の理解と協力を得ることに注力します。</p>	計画期間：令和2年度(2020年度)～令和11年度(2029年度)
	<b>総合計画</b>	
	3-1-② 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めます。	
	<b>基本政策</b>	
	46 都市農地の保全活用	